

訪欧ミッションを

チエコ、ギリシヤに派遣

— 不透明な国際情勢における日本との協力の可能性

ヨーロッパ地域委員会では、日欧関係の重要性に鑑み、例年欧州各国にミッションを派遣している。コロナ禍により、2019年を最後に中断していたが、2022年は3年ぶりに再開し、10月9日から14日にかけて、私たちヨーロッパ地域委員長が共同で団長を務め、10社・24人の団員でチエコ・プラハおよびギリシヤ・アテネを訪問した。

チエコは1968年にソ連の侵略を受け、民主化を弾圧された経験から、ロシアによるウクライナ侵略に対してEU加盟国の中で最も強硬な姿勢を示す一方、天然ガスのほぼ100%をロシアに依存するという難しい立場にある。ギリシヤも、天然ガスや原油の多くをロシアに依存するほか、「一帯一路」構想のもと、港湾整備などで中国との関係を構築している。今回のミッションでは、このように地政学的に難しい立場にある2カ国を訪問

し、政府・経済界要人との懇談や街の様子を通じて、現地の情勢を肌で感じ、「ロシアの国際法違反に断固対応する」という経団連の立場を共有するとともに、脱ロシア依存、エネルギー問題への対応、気候変動対策、デジタル化の推進、自由で開かれた国際経済秩序の実現などの共通課題について意見交換を行った。

本稿では、ミッションの模様について紹介したい。

チエコ

チエコでは、ロシアのウクライナ侵略を受け、ロシア以外からの代替エネルギー資源の確保が喫緊の課題となっている。天然ガスの脱ロシア依存に向け、エネルギー資源の調達先の多角化を図っており、特にカタルとの間で資源融通のためのパートナーシップ協定

を締結するなど、具体的な措置を講じている。エネルギー安全保障の観点から、湾岸諸国との自由貿易協定(FTA)の締結は、日本としても重要な課題であり、チエコのしなやか、かつしたたかな外交は、参考となる点が少なくない。また、チエコは、電源構成の4割程度を原子力発電で賄っており、エネルギー危機の中にあっても、電力は輸出できる余力があり、原子力発電の重要性が改めて認識された。外交面でチエコは、ロシア、中国を意識し、インド太平洋地域との連携強化を重視している。その中で、民主主義の価値観を共有する

ヨーロッパ地域委員長
住友生命保険特別顧問

佐藤義雄

さとう よしお



副会長
ヨーロッパ地域委員長
日立製作所会長

東原敏昭

ひがしはら としあき



日本を「最も信頼できるパートナー」と位置付けている。両国の政府間で締結されている「日・チェコ協力のための行動計画(2021年〜2025年)」にも記載されている通り、重要インフラの保護やサイバーセキュリティなど、安全保障面を含め連携が進むことが期待される。日本企業に対しては、省エネ技術の研究開発、ブルー水素の製造、小型モジュール原子炉(SMR)の建設など、脱炭素技術に関する分野への投資に対する期待が大きく、研究開発をはじめ、今後、両国間のビジネスにおけるさらなる連携の可能性があるのではないかと思われる。

ギリシャ

ギリシャは、海洋国家という特徴を活かし、米国や北アフリカから輸入した液化天然ガス

(LNG)を貯蔵し、ロシアからの天然ガス供給が停止されたブルガリア等に融通するほか、洋上風力発電や太陽光発電による電力を欧州各国に送電し、欧州へ電力やエネルギー資源を輸出するハブとなる構想を推進するなど、今般のエネルギー危機をチャンスに変えるべく取り組んでいる。現在、ギリシャ北部のアレクサンドロポリ港に浮体式LNG貯蔵再ガス化設備(FSRU)を建設する計画が進んでおり、LNG受け入れ可能容量の拡大を図っている。日本との関係では、電力を近隣諸国に融通するための高圧直流送電網の整備や、陸上運送の脆弱性ぜいじょくせいというボトルネック解消のための鉄道整備への投資について、期待が大きい。

また、ギリシャは、コロナ禍のもとでデジタル化の取り組みを加速させ、特にデジタ

ル・ガバナンスやデジタル人材の育成に注力している。大手多国籍IT企業などがギリシャにおいてデータセンターの建設を決定しており、欧州のデータハブとなることを目指している。日本企業に対しても、さらなる投資への期待が示されており、今後、デジタル分野における産業協力の可能性も大きいだろう。EU復興基金に基づき、ギリシャ政府が策定した復興プログラム「Greec 201」では、グリーンやデジタルへの移行に取り組むプロジェクトが多く進められており、日本企業による同プログラム活用の可能性が示された。

米中対立、新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアのウクライナ侵略など、世界の分断を惹起じっぎしかねない危機に相次いで見舞われる中、自由、民主主義、法の支配、人権といった本的な価値観を共有する欧州との連携は



フィアラ首相 (チェコ)



リパフスキー外務大臣とミッション一行 (チェコ)



ミツオタキス首相 (ギリシャ)

重要性を増している。今回の訪問を通じて、我が国と共通する課題であるエネルギー問題や気候変動対策、デジタル化、自由な貿易投資体制の維持といったテーマについて、チェコ、ギリシャ側からも日本との協力関係の発展に大きな期待が示された。今後、ミッションのフォローアップや今回のようなミッションの派遣を通じて、引き続き欧州各国との関係強化を図ってまいりたい。